# 朝 の 館 内 放 送

おはようございます。市長の中村健です。

みなさん、今年のゴールデンウィークはどのように過ごしましたか。
例年とは異なる過ごし方をした中で、家族や親族の大切さ、ありがたさを改めて感じた方も多かったのではないでしょうか。

その一方で、スポーツやエンターテイメントなどは自粛が続き、社会が明るくなるニュースや、心躍るようなニュースを目にする機会も少なくなりました。

私自身は、フェイスブック上にある「リーダーへ贈る人生が輝く言葉」というページから、毎日配信されるメッセージを読み、時に晴れやかな気持ちになり、時に勇気づけられています。

本日は、その中のいくつかを紹介したいと思います。

１つ目
自粛、自粛でストレスがたまり、ギスギスしがちな世相だから、
優しい気持ちを忘れないでいよう。
それぞれの人がそれぞれの持ち場で、誰かのために働いている。
いがみあうのではなく、いたわりあい、
傷つけあうのではなく、気づかいしあい、
お互いにエールをおくりあい、あたたかな空気をつくりだそう。

２つ目

できる理由を語りあおう。

できない理由は、スラスラ出てきて、いいアイデアをダメにするから、

できる理由をみんなで話しあおう。

できる理由をみんなで話しあえば、できないこともできることがある。

人生の先輩たちはそうして、不可能を可能にしてきた。

できる理由を語り合い、みんなで新たな道を切り拓こう。

３つ目

何を与えてもらえるのか、ではなく、何を与えることができるのか。

与えてもらうことばかり考えていると、不平不満が多くなる。

何を与えることができるかを考えていると、心が積極的になって豊かになる。

与えることを喜びとする心豊かな人になろう。

愛知県内においては、この１０日余り、日々の新型コロナウィルスの感染者が５人以内に収まっており、気の緩みは禁物ですが、出口がおぼろげながら見えてきたように思います。

公務員の真価が問われる厳しい状況だからこそ、希望を持って、前を向いて、今日も一日頑張りましょう。

以上で、朝の館内放送を終わります。